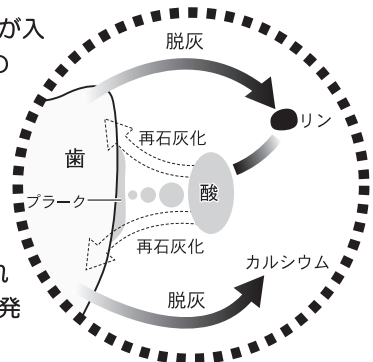


フッ素とむし歯予防のメカニズム

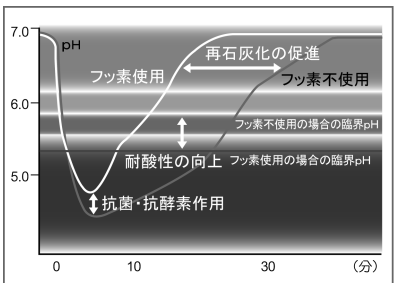
最近ではテレビでもフッ素のむし歯予防効果が、大きく報じられています。フッ素のむし歯予防メカニズムに迫ります。

まずむし歯の成り立ちを知りましょう。食べ物が入ると口の中は酸性になり、歯のエナメル質(歯の一番表面の部分)の成分であるカルシウムとリンが溶け始めます(脱灰)。食後40分ぐらい経つと、唾液の働きにより口の中は中性に戻り、溶け出したカルシウムやリンが歯の表面に取り込まれて結晶化します(再石灰化)。私たちの口の中ではいつもこの脱灰と再石灰化が行われており、このバランスがとれていればむし歯は発生しません。



◆ むし歯を予防するフッ素の三つのはたらき ◆

強い歯になる	歯はフッ素を取り込むと、一部がフルオロアパタイトという酸に強い性質の成分に変化して強い歯になる。
抗菌作用	フッ素には、歯の表面についているプラーク中の細菌を抑制する働きがある。
脱灰の抑制と再石灰化の促進	フッ素があると、細菌の働きが抑制されて結果的に脱灰が抑えられ、より再石灰化が進む。



歯科衛生士 2004. 8月号 P. 63参考

◆ 予防に効果的なフッ素の使い方 ◆



- ① フッ素入り歯みがき剤の使用(お家で歯磨きに使用)
- ② フッ素洗口(お家でフッ素を使ってブクブクうがいをします)
- ③ フッ素塗布(歯科医院でフッ素を歯に塗ります)
- ④ フッ素を水道水に入れる ※日本ではあまり行われていません

フッ素の塗布は歯科医院でしかできません。定期的な利用で積極的にむし歯を予防しましょう!

KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

新 2006年 年号



新年あけましておめでとうございます。

私事ですが、年末に左足を捻挫してしまいました。健康なときには何の苦勞もない事が、怪我をしてみても不便を感じ、ストレスとなってしまう事をあらためて実感しております。歯やお口の健康も同じです。健康な方は、その健康を維持するために、現在体の不調を抱えて不健康を自認しておいでの方には、最大限健康なレベルまで復活しその状態を維持できるように、私たちはそのお手伝い出来るようお力になればと考えております。

今年もスタッフ一同精進する所存でおりますので、疑問点等は気兼ねなくお申し付け下さい。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。このニュースレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

★ 診療日変更のお知らせ ★

1月20日(金) 休診します。
2月2日(木)~5日(日) 連休します。

乙みや歯科 ☎ 03-5699-8888
〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F
「インターネット予約確認サービス URL」 <http://www.dent-s.net/komiya/>
ホームページアドレス <http://www.wahaha.gr.jp> E-mail dental@wahaha.gr.jp